

# 2025 年 8 月豪雨により熊本県で発生した 浸水被害の特徴

## 第 2 報 上天草市・天草市を事例として

山本 晴彦

山口大学大学院創成科学研究科

### 1. はじめに

2025 年 8 月 10 日の夜遅くから翌 11 日の午前中にかけて、前線が九州北部を南下し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、熊本県の鹿北菊池地方から宇城八代・天草地方にかけて線状降水帯が発生して非常に激しい雨や猛烈な雨が降り、2 日間の積算雨量は八代市の宮原で 573mm、竜北で 506mm、美里町の砥用で 541mm、上天草市の県松島で 505mm と、500mm を超える雨量を観測するなど、記録的な大雨となった。ここでは、豪雨により甚大な浸水被害が発生した上天草市と天草市を対象に、豪雨の時間的特徴、過去の災害との比較、降水・水位・潮位データや地形的特徴などから見た浸水リスクの評価、現地での浸水痕跡（浸水深）の調査などに基づく被害状況などについて、概要を報告する。

### 2. 上天草市・天草市（天草地方）の概要

ここでは、天草諸島で浸水被害が甚大であった上天草市松島町の合津・今泉地区、天草市の本渡地区を対象としている（図 1）。これらの地区は干満差が大きい八代海（不知火海）や島原湾に面しているため、沿岸部では高潮による被害（1999 年台風 18 号 他）が幾度となく発生している。

また、1972（昭和 47）年 7 月の天草豪雨では、上天草市上島の旧姫戸町・龍ヶ岳町、天草市の旧倉岳町で土砂災害により死亡 112 名に上っている。ただし、天草水害は上述した上島南側の旧 4 町に被害が集中していたため、上島北側では水害の経験を有していない。



図 1 上天草市（松島・今泉地区）・天草市（本渡地区）の位置

### 3. 豪雨の特徴

第1報には8月10日～11日の積算降水量の分布を示しており、長洲市－玉名市－熊本市北西部、天草市－上天草市－八代市・氷川町－甲佐町・美里町の2つの強雨域が認められる。県内では、ほぼ10日22時頃から翌11日10時頃までの12時間の短時間豪雨が観測されている。本渡・八代では熊本とは異なり最大6時間降水量では11日9～10時頃に認められている(図2)。

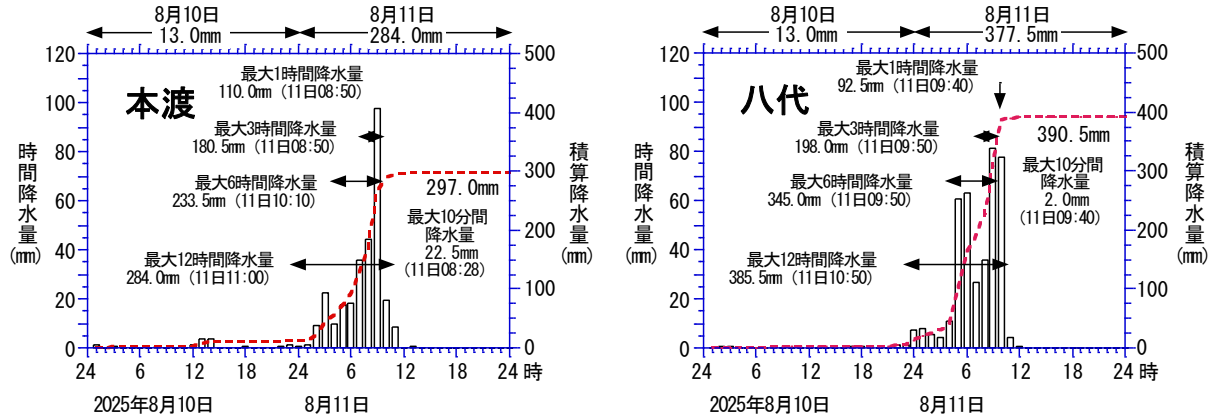


図2 2025年8月10日～11日の熊本・本渡・八代のアメダスにおける時間降水量の推移

### 4. 上天草市における被害の特徴

旧松島町阿村の阿村小学校のグラウンド脇に松島アメダス(降水量のみ)が開設されているが、今回の豪雨では雨量計の転倒ですが浸水し、11日8時10分以降は欠測となっている。アメダスから西南西に約680m離れた場所に熊本県が設置した県松島の雨量計では、積算降水量が505mm、最大1時間降水量も123mmを観測している。旧松島町中心部の合津地区を流れる合津川の水位計は欠測しており、南側の流域の今泉川の水位は雨量のピークから約2時間半遅れて氾濫危険水位を大きく超える3.73mを観測し、三角港の満潮とほぼ一致している。

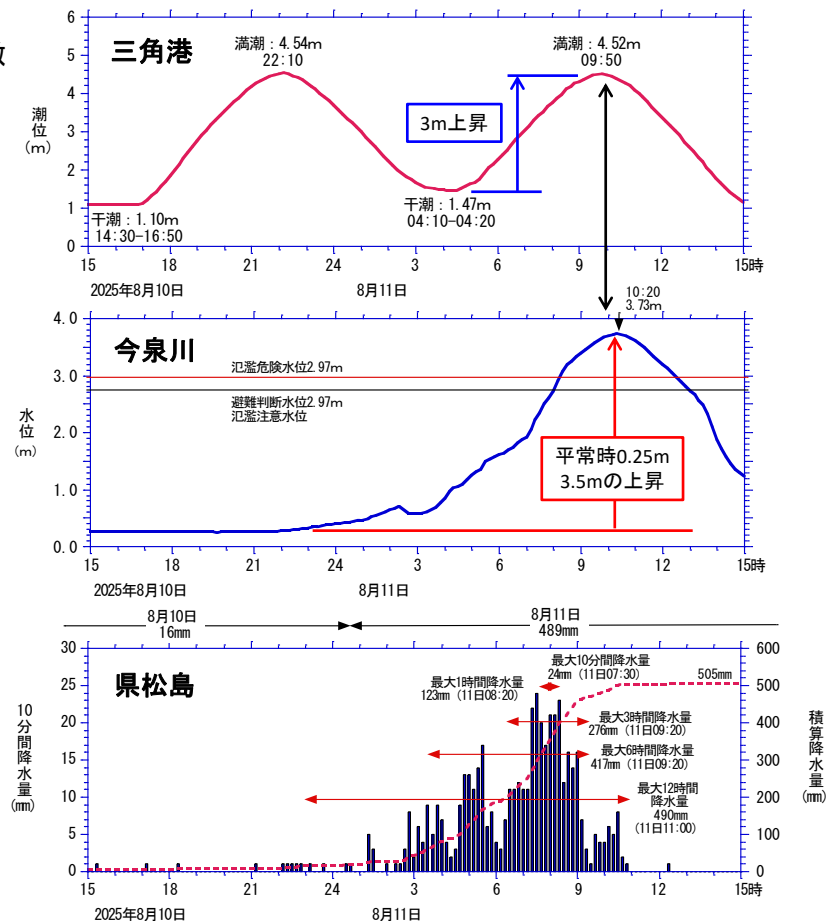


図3 県松島雨量、今泉川水位(三石橋)、三角港の潮位の推移



八代海（三角港）が干潮から満潮へ上げ潮の時間帯に豪雨が重なり、今泉川の水位（三石橋）が10時20分に3.73mを観測する高水位となり、松島町内の合津川や今泉川の流域で外水氾濫が発生した（図3）。

合津地区には市役所松島庁舎（旧松島町役場）をはじめ、体育館、文化ホール、野球場、陸上競技場が整備された松島総合センター「アロマ」、図書館が立地しているが、標高が低い内陸の総合センターや図書館が浸水する被害（写真1）に見舞われており、現在も復旧の目途は立っていない。

洪水ハザードマップ（想定最大規模）に筆者が測定した実績浸水深を重ねた図4では、国道324号や旧国道沿いの建物で最高2m強の浸水深となっている（写真2）。

図5の今泉川の洪水ハザードマップ（想定最大規模）では、下流域で3～5mの浸水深が想定されている。今回の水害では2mを超える浸水深に見舞われており、農家の倉庫では農機具や低温貯蔵庫などの浸水により、被害が大きく拡大している。



写真1 合津地区の松島総合センター「アロマ」と中央図書館における浸水被害（上天草市提供）



写真2 合津地区における建物の浸水被害

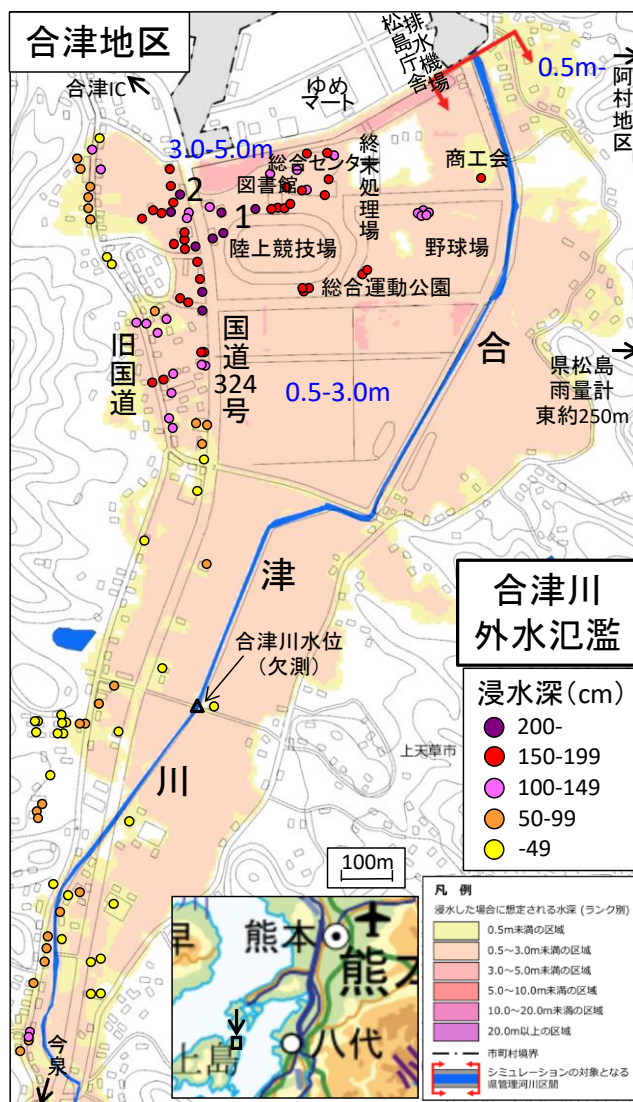


図4 上天草市（合津地区）における洪水ハザードマップ（想定最大規模）と実績浸水深（cm）



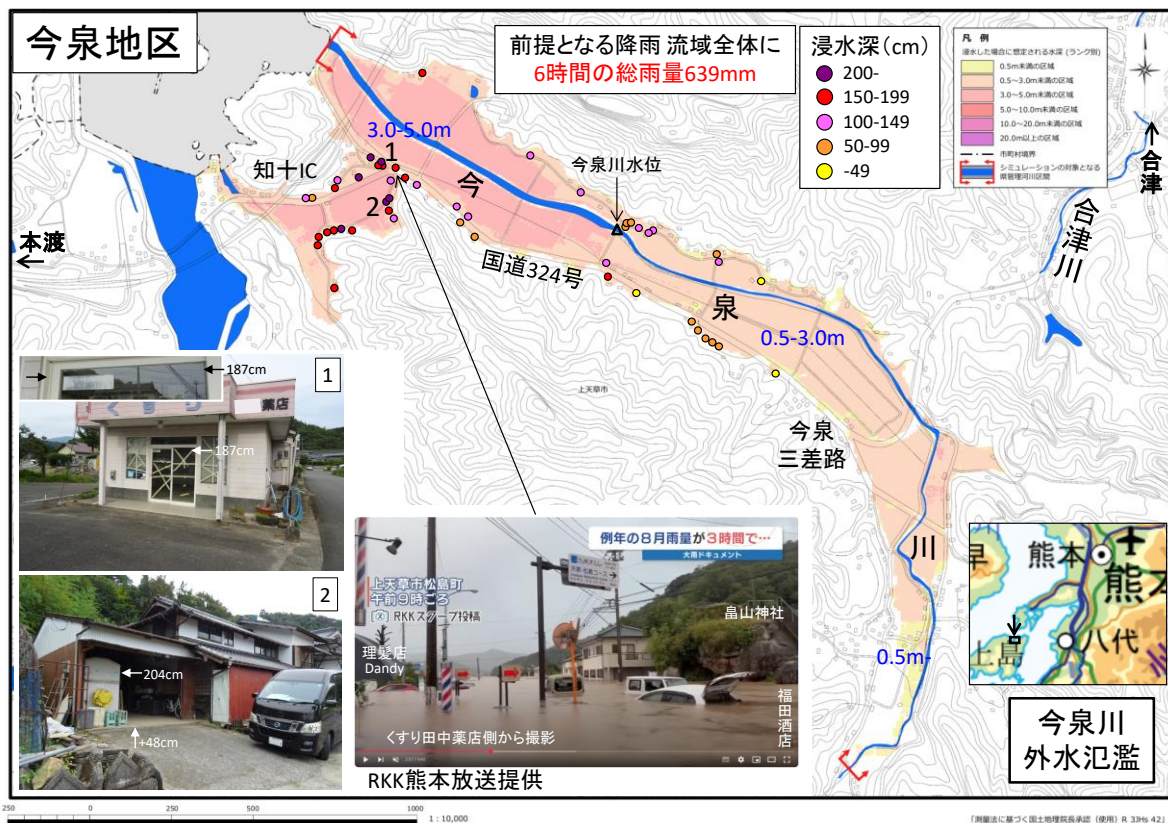


図5 上天草市（今泉地区）における洪水ハザードマップ（想定最大規模）・実績浸水深（cm）と浸水被害の状況

## 5. 天草市における浸水被害の特徴

天草市の市街地の本渡地区では、天草市が平成 23（2011）年に作成した内水・浸水ハザードマップ（図 6）に示したように、町山口川に架かる祇園橋（国指定重要文化財）付近からの越水により、特に中央銀天街を含む右岸で浸水被害が生じており、内水氾濫も発生して最高 1m の浸水高となっている。また、本渡運動公園西側の埋立地一帯でも内水氾濫（最高約 70cm）による浸水被害が生じてい



図6 天草市内水・洪水ハザードマップ(本渡地区)・実績浸水深(cm)と浸水被害